

ま な び や

# 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.14 2007年2月10日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 HP: <http://www.seikei-seminary.org/>  
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

---

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

先日、新約クラスの合間に皆で土星を観望しました。ご存知、輪のある惑星で、今がちょうど見ごろ。丸い本体をクルッと囲むリングがきれいに見え、歓声が上がりました。「土星にリングがあるのなら、四角い天体ってないのですか」との質問には一瞬絶句。発想の豊かさには驚きです。

「主のみわざは偉大で、みわざを喜ぶすべての人々に尋ね求められる」(詩111:2)

校長 関野祐二

## ● 問い合わせが続いています

2007年度に向けての学生募集もあと一ヶ月足らず。神学校への問い合わせも多くなり、外出や昼寝(?)もままならなくなってきました。近年の傾向であるシニア世代からの問い合わせは、例年になく多いようです。社会でひとつの働きを成し遂げた方々が、主のためこれからの人生をささげるべく、学びを希望されている姿は大きな励まし。この神学校の特徴とも言える間口の広さと学習形態の多様性が生かされれば感謝と思います。クリスチャン新聞2007年1月7日/14日号第二部に、聖契神学校の特徴を紹介した取材記事が掲載されていますので、よろしければご覧ください(ギリシャ語クラス学生の後ろ姿と赤星先生の写真が載っています)。

ホームページを見て問い合わせてくださる方々も多くなりました。画面や内容をもっと充実させなければ、と思いつつも、いやむしろホームページだけではわからないほうがいいかな、などと妙な言い訳も考えています。電話で直接お問い合わせをいただくと、そこに会話や交流が生まれ、きめ細かな対応が可能ですし、学びの動機を確かめたりお人柄に接することもできるわけで、これがけっこう重要なのです。逆もしかりですから、こちら側のそんないな対応はご法度ですね。

## ● 個人面談あれこれ

個別対応の神学校ですから、年度替りの時期に面談は必須。物置状態の校長室ですが、1月より予約制で希望者をお迎えし、聴講から正規生への編入希望、来年度の履修の仕方、今後の歩みなどを語り合っています。来談者にとっても、〇〇教師が面談相手ですから、宿題やレポートの大変さを表に出しにくく、やりにくさ百倍。履修科目を決める相談では、ちょっぴり緊張が走ります。週に二度会わないように、とだけ警告をしています(△△△の顔は一度だけ?)。

送り出してくださる教会の祈り、家族の理解、仕事や教会奉仕との両立、健康(年齢も?)、経済、そして自身のビジョン。すべてが相まって今の学びが可能なのですし、今後の継続についても同じ。ひとりひとりがほんとうに大切な主の器なのだ、と私自身も実感させられるひとときです。この神学校で共有する人生時間が最高の祝福で満たされますように。世間話(神学校対抗ソフトボール大会のメンバー編成など)に花が咲き、つい時間をオーバーしてしまうのですが。

## ● 格差是正と新規参入と

夏休み前、男子寮にシャワーと給湯器が設置され、エアコンつきの広いラウンジが稼動し始めたことはお知らせしました。こうなると、女子寮にもシャワーを設置したいと考えるのは自然な流れ。格差是正も世の流れ。ちょうど、4月より二階教員住宅の浴室設備利用者がパンク状態になるのを機に、三階女子寮のシャワー設置と一階の浴室設置を春休みいっしょに行い、積年の不便な状況を一挙に解決しようと目論んでいます。築四十年も近い建物に何を今更、ですが、なかったものが出現するのですから居住者には朗報のはず（ですよね？）。喜ぶ顔が早く見たいです。

そうそう、コピー機も3月に入れ替えます。耐用年数をとうに超え、不具合があちこちに出てきた現機器ですが、これだけ主のために使ってあげれば本望でしょう。去る11月、メーカー&機種選定の一環で、デモ機を一週間お借りする機会を得ました。用紙のみ自前であとはフリー。ここぞとばかりに学生や教師がコピーをとりまくり、連日大賑わいでした。派遣された営業マンは新人で若く、取り囲んだオトナ学生たちのきびしい要求に四苦八苦。でも、なんとか彼を助けようという温かい空気が流れ、神学生の某H兄（同じコピー機器会社の元社員）が大活躍。営業さんを尻目に機械設置の配線までこなす雄姿に、一同感嘆の声をあげたのでした。

## ● 入学試験・卒業式・入学式に向かって

ちょうど今、神学校は在校生の2007年度前期履修届提出期間。カリキュラムの張ってある掲示板の前に数人がたむろし、どの科目をとるか（ヒソヒソ）相談している場によく出くわしますが、横槍を入れると逆襲（宿題を減らせ！と）に会うので遠巻きにしています。いちばんふさわしい順番と状況で科目履修がなされるよう、心の中で祈りつつ見守っている状況。そうは言っても、不安そうな様子を見かけたら、なるべく声をかけるようにしています。

2007年度入学試験は3月2日（金）午後1時。数年前の18名受験というギネス級記録は塗り替えられなくても、外部からの正規生10名、聴講生5名受け入れを今年も祈っています（これ以外に、聴講生からの正規生編入6名予定）。期末試験の一週間を経て、卒業式は3月12日（月）午後6時半。専門科5名、基礎科2名が卒業予定です。私の校長就任時に入学し、四年間の学びを終えて今回専門科を卒業する人も。大げさですが、ひとつの作品を世に問う、そんな心境です。

入学式は4月2日（月）午後6時半です。ヘブル語&旧約釈義で独特の持ち味を発揮している本多公久師が、新入生に励ましのメッセージを語ってくれますので、お楽しみに。卒業式、入学式とも、すっかり恒例となった学生会主催の感謝会・歓迎会が開かれます。試験やレポートでへこんだ在校生も、ここで挽回してください。4月3日（火）からすぐに前期授業開始ですよ！！

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 献身と学びへの思いが与えられ、今春より本校で学びを始める新入生が諸教会から多く遣わされるように（外部から正規生10名、聴講生5名目標）。3月2日（金）入学試験。
- ・ 卒業を控えた7名の最後の学びと3月12日（月）卒業式の祝福。説教者は趙南洙師（同盟基督・招待キリスト教会牧師）です。卒業後の働きのため。
- ・ 4月2日（月）午後6時半より入学式です。新年度の良きスタートを切れるように。
- ・ 休学中の姉妹にいやしと支えがあるように。復学予定の方々の学びが支えられるように。
- ・ 神学校が学びの充実と教師研鑽、交わりと霊的成長、運営や経済的満たし等の各面で支えられるように。学生と教師の健康、霊性、教会奉仕、家族や働きが支えられるように。